

その他の医療保健業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	6～7	ご利用者様の居室にて起床介助をしていた際に、ご利用者様が動かれ転倒されそうになったのを支えた結果、腰に激痛がはしり負傷した。	60	911	19	10～29
2017	1	10～11	院内内で使用済みのメスを片付ける作業中、持針器を使ってメスを取り外す際、滑って右手親指を切った。	29	379	8	—
2017	1	12～13	上にある荷物を下ろそうとしたときに、お湯の入った容器が両足にかかり、両足趾を火傷した。	24	611	11	10～29
2017	1	13～14	医療モール2階にある顧客へ検体回収後の下り階段で、階段を踏み外し転倒した。その際、検体を入れた集配BOXを持っており、BOX内の検体に影響がないようにした為に、無理な体勢で足を着き、左足を負傷した。	38	413	1	—
2017	1	7～8	技工室のドアを開けようとした時、ほうきが倒れていたため足が引っ掛かり、前方に倒れて左肩・両ひざを強打した。	60	379	2	—
2017	1	11～12	当院エレベーター前にて、昼食準備のため、2名で、配膳車2台を受け取り、1人1台で運び、エレベーター扉前で2台連なって待機していた。本人は後方配膳車の前側に立ち、他職員は前方配膳車の前側に立つ。扉が開くと他部署職員と台車が乗っていたので、出てもらうスペースを確保する為に、前にいた他職員が声をかけずに配膳車を	51	611	19	50～99

			後方へ押したところ、2台の配膳車に挟まれそうになった当職員は、とっさに両方の配膳車を手で押したが、自分の配膳車を握っていた左手に激痛がはしり、骨折した。				
2017	1	20~21	仕事場で重い荷物を運んでいる時に、廊下で重い荷物（お湯の入った足湯用の桶）につまずいてしまい、尻から着地し、持っていた桶が右側の肋骨を強打した。	44	611	2	—
2017	2	8~9	敷地内駐車場に車を止め、建物に向かい歩いているところ、雪の上で滑り転倒し背骨の骨が圧迫された。	63	719	2	—
2017	2	14~15	歯科医院内階段にて、治療に必要な物品を3階から1階に持って階段で下りる際、2階付近で転倒し負傷した。	22	413	2	30 ~ 49
2017	2	8~9	巡回健診先の2階休憩室にて、健診準備をしていたところ現場のフローリングの床半分に畳が敷いてあり、10cm程の段差で滑り、臀部から転倒してしまった。転倒の際、左腕をつき圧迫してしまった為、強い痛みがあり、病院を受診したところ骨折と診断され緊急手術のため、入院となった。	52	417	2	50 ~ 99
2017	2	11~12	訪問マッサージ業務中、お客様の所から、次の訪問先への移動中、ドライバーが運転する車が他の走行中の車とぶつかりそうになった為、左へハンドルをきり、急ブレーキを掛けた。その時、被災者は後部座席にて、横になっており、急ブレーキによって、前座席と後部座席の間に転がる形になり、体を打ってしまった。	43	231	3	1~ 9
2017	2	13~14	2階ナースステーション内休憩室で師長と一緒に休憩をしていたところ、他の職員が休憩室に入るためドアを開けようとした途端、ドアが外れ左側頭部に当たった。	45	418	6	50 ~ 99
2017	3	10~11	機材のある部屋に移動中、会社の外階段にてつまずき、顔面を強打し流血した。	61	413	2	1~ 9
			食事介助中、利用者の隣の椅子に座り介助をしながら、自身も食事				

2017	3	12~13	を取っていた。椅子から立ち上がって介助し、座ろうとした際、隣に来たヘルプの職員が椅子を移動させていたため後ろを確認せずに座ったところ、座り損ねて転倒した。転倒時、テーブルの角に後頭部、床に腰部・臀部を強打し受傷した。	48	379	2	—
2017	3	9~10	事務所に届いた30箱の重い荷物を、事務所前道路に止めてある配送車から事務所まで複数名で運び入れた。床から持ち上げ自分の机上に置こうとしたとき、重いので振り子のように勢いをつけて右から左へ荷物を持ち上げて置いた際、左の腰を捻り、左腰上部に筋肉痛のような痛みを感じた。腰に痛みが発生し（腰に熱を持ったような感じ）、右手のしびれや発汗もあり、お辞儀や身体を捻じることができなかった。帰宅後、歩行困難で階段の昇降ができなくなり、痛みも激しくなり救急搬送された。	46	611	19	50 ~ 99
2017	3	9~10	当社の業務請負先である5F病室で工作中、廊下にある作業用のカートに行こうとして廊下に出た際、足が突っかかり前に倒れ込み、左手肘を骨折した。	51	417	2	10 ~ 29
2017	3	16~17	事業場の所在地において介護職員として勤務を始め、利用者を車いすやベッドから移乗させる作業を1日平均10回程度行っていたところ、強い痛みを感じはじめた。	25	921	19	50 ~ 99
2017	3	10~11	訪問ヘルパーとして、利用者宅から次の利用者宅へ自転車で移動中、植え込みの砂地にタイヤがはまってスリップし、右に倒れ、右ハンドルに右胸を強打した。	58	417	2	10 ~ 29
2017	3	14~15	利用者の送迎時に転倒した。	52	418	2	10 ~ 29
2017	3	18~19	院内にて、診察チェア周辺の診療器具を片付け持ち運んでいた際、つまずいてバランスを崩し、床に左手をつき親指の付け根を内出血した。	37	921	2	1~ 9
			自動車がバックで進入してきたため荷卸しのため近付いた際、普段				100

2017	3	12~13	通りのスピードだったためそのまま止まると思ったが止まらず、轢かれて後方に倒れた。	65	362	17	~ 299
2017	3	10~11	清掃作業中に移動したところ、テーブルの脚に足を引っ掛け後ろに転倒し、床に尻もちをついた。	60	911	2	1~ 9
2017	4	14~ 15	検体回収先の病院駐車場で、車に戻る際に駐車場入口のチェーンをまたごうとしたところ、足が引っ掛かり転倒して骨折した。	49	419	2	50 ~ 99
2017	4	11~ 12	院内のレントゲン室内にて患者の猫のエコー検査中に、猫が嫌がり右手を噛んだ。	98	911	8	1~ 9
2017	4	16~ 17	移乗介助の研修時、上司の指示のもと、ベッドの上で様々な姿勢をとる練習をしており、骨盤を前傾させるような姿勢をとっていたところ、痛みが徐々に強くなった。（腰椎ヘルニア既往歴あり）	22	921	19	500 ~ 999
2017	4	9~ 10	健診会場において設営作業のため、倉庫からホール内に机を運び入れる際にホールの扉（手前引の開き戸）を開けたところ、扉の先の足元に置いてあった鞆に気付かず躓き、右足を激しく挫いて転倒した。	67	379	2	500 ~ 999
2017	5	13~ 14	患者様の歯のクリーニングの補助のため、バキュームを持っている際に患者様の口が大きく開かず、口が開くように押さえていた。その状態が長時間続いた後、左手指の付け根や手の平、甲に痛みが出てきた。その後は痛くなったり、良くなったりを繰り返していたが、左手をかばっていたせいか痛みのなかった右手も痛みだし、手根管症候群末梢神経障害と診断される。	29	921	19	10 ~ 29
2017	5	10~ 11	クリニック受付カウンターにおいてお客様対応業務中、イスに座ろうとしたが、キャスター付のイスが後ろにずれていて、腰を下ろした位置に椅子が無く、転倒し、コンクリートの床に左手を強くつき、手首を骨折した。そのとき壁に頭が当たり、頭痛・吐き気・ふらつきがあり、一時的に自力での歩行が困難となった。	56	391	2	1~ 9

2017	5	7~8	出張健診先に到着して、健診車を駐車後降車しようとした。運転席にシートやシフトペダル、ハンドル等があり狭く、動きづらい状態であった。その中で降車しようとしたが左足首が引っ掛かり抜けなかった。抜いて降りようとしたところ、体勢を崩してしまい運転席から転落した。転落した際、左足から着地したことにより足首を捻り、骨折した。	61	231	1	300 ~ 499
2017	5	8~9	通勤中に医院の玄関先で滑り、転んでしまった。	50	417	2	1~ 9
2017	5	17~ 18	整骨院において患者の臀部分を施術中、左腕の肘を用いて患部に体重をのせた際に左肩に電気が走った様な強い痛みを感じた。	22	911	19	50 ~ 99
2017	5	17~ 18	下膳をしている時に、右側にずれようと右足を出した時に右足に電気が走るような痛みを感じた。早退したが痛みが酷くなり、右膝内側半月板断裂および右膝窩筋損傷だと判明した。	63	921	19	50 ~ 99
2017	6	15~ 16	執務中に事務室内を移動していたところ、机の脇に置いてあったダンボールに躓き、転倒した。転倒した際、手をつくことが出来ず、床に膝を強く打った。	56	417	2	10 ~ 29
2017	6	15~ 16	個人宅への訪問看護に自転車で向かっている途中、急な下り坂でスピードが出てしまい転倒し、負傷した。	39	362	2	1~ 9
2017	6	14~ 15	自転車で出勤し、診療所ビルの裏口にある駐輪場に自転車を止め、診療所に向かおうと、両手に荷物を持ち、道路に出ようとしたところ、段差に気付かずに転んで負傷した。	58	417	2	1~ 9
2017	6	18~ 19	利用者用食堂の入口で、利用者を誘導中に、後ろを横切った利用者が転倒しそうになったので、後手で支えようとしたが支え切れず、腰を捻ってしまった。	39	911	19	100 ~ 299
2017	6	12~ 13	駐車場で薬局へ移動中、駐車場のタイヤ止めに足を引っ掛け転倒した。転倒時に左手をつき、左手中骨を骨折した。	53	418	2	10 ~

2017	7	8~9	事業所内で、高さ約50~60cmの折り畳み椅子にのって、棚の上にあるセロハンテープを取ろうとしたときに足を踏み外し、勢いよく床に着地し、腰がグキッととなり負傷した。	30	379	1	1~9
2017	7	12~13	会社に帰る途中、フットブレーキを踏み過ぎ、ブレーキが効かなくなり、動いている検診車から飛び降りた。降りたときに検診車と接触し、右足首・左脚・左腕を骨折した。	44	239	17	~299
2017	7	15~16	営繕の作業場にて、故障したプリンターを修理中、誤ってプリンターのコードに躓き、背中から転倒し、腰を強打し負傷した。(第1腰椎圧迫骨折)	41	417	2	100~299
2017	7	9~10	当院駐車場で散水の準備中、ホースに足が引っ掛かり受傷した。	49	417	2	1~9
2017	9	9~10	当院同スタッフと共に2人で出席する際に向かっている、駅を出て会場近くの階段でつまずき転倒してしまい、コンクリート上の床面に左足の膝を打ち付けてしまい負傷した。	35	413	2	1~9
2017	9	8~9	2階より1階へ下りる際、踊り場に居た利用者に挨拶をしながら降りていると、気を取られ階段を踏み外し転倒。徐々に腫れ、痛みが酷くなった。	52	413	1	10~29
2017	9	13~14	当施設の駐車場に向かおうとした際、当施設の入っているマンションの1階通路が雨で床が濡れており、誤って滑り、頸部を挫傷したものの。	47	417	2	100~299
2017	9	12~13	当協会健診センターでの午前の健診が終了し、消毒済みの受診者用スリッパを両手に一足ずつ持ってスリッパロッカーに収納しようとする目線はロッカー上段をめがけて歩いていたところ、足元に敷いてあるスイタ(120cm×45cm×5cm)に左足がつまずき転倒し、脇腹・骨盤、特に左肘を強打した。	62	419	2	100~299
2017	10	13~	当事者自転車にて走行中、交差点にて左折。左折直後、正面より車両がきており、正面衝突を避ける為に、自ら左側に転倒し受傷。車	65	362	17	1~

		14	両との接触なし。なお、左折後の道幅が狭く、車両の左側をすり抜けることが出来なかった。				9
2017	10	15～ 16	訪問サービスでベッドメイキング時、慌ててしまい、転倒。右足薬指と小指にヒビが入った。	61	921	2	10 ～ 29
2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んだ。そのため、職員5人で、この鉄板を元に戻した際に激痛で動けない状態になった。	55	521	19	10 ～ 29
2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んでしまった。そのため、職員5人で、この鉄板を元にもどした際に腰と股関節を痛めた。	55	521	19	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	隔離室入室中の患者様の開放時間が到来したため隔離室前に行き、中で扉前で待っている患者様を目視し、扉を開きかけた時、内側より患者様が飛び出すように勢いよく扉を押され、右手を強くぶつけてしまい受傷した。重度知的障害の患者様であるため責任を問うことはできない。	25	911	6	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	高校にて健診従事中、立ち上がろうとした際、意識消失し頭からうつぶせの状態転倒した。（入院中）	49	921	2	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	急きょ退所が決まった利用者が荷物を忘れて帰宅されたため、御家族様に連絡したところ、すぐに取りに来られた。急いで相談員室に荷物をとりに向かったが、あせって左足の踵に右足のつま先がひっかかり体勢を崩した。転倒を防ごうと咄嗟に右手を床についたが支えきれず転倒した。右手首外側に激しい痛みがあったため氷で冷やした。	56	921	2	50 ～ 99
2017	11	7～8	駅の自転車置場から駅改札口へ向かう歩道がきちんと舗装されておらず、でこぼこになっていたため足がとられて右足が外側にガクッ	55	417	2	1～

			とひねり、剥離骨折した。通勤途中ではない。				9
2017	11	8~9	お客様宅で食事介助を行う際に、椅子に座っているお客様に対し、スタッフ用の椅子はない為、テーブル横で立膝をついて、食事介助を行っていた。右膝に重心をかけた時に強い痛みが走り、その後、立位、歩行、屈伸等の動作を行うも激しい痛みがあった。右膝の曲げ伸ばしが出来ず、右足を引きずっての歩行になったので、当日にクリニックを受診した。	48	921	19	10 ~ 29
2017	11	14~ 15	会社の階段を下りている時に、1階の階段の下から2段目を踏み外し転倒した。	48	413	1	1~ 9
2017	11	17~ 18	重度障害者のホームで支援業務中、利用者が玄関から外に飛び出し玄関横で寝そべったまま起き上がろうとしないので起こしてあげるために、同僚の支援員が上半身を持ち、被災者が足を持ち上げた時に、利用者が力を入れたのでその勢いで、被災者が体勢を崩してしまい利用者側に倒れ込んだ。すぐに湿布を貼り応急処置をして、その日は終了時刻まで仕事をした。その後痛みが治まらないため後日に受診した。	69	921	19	10 ~ 29
2017	11	9~ 10	特別養護老人ホーム内での介護業務中、トイレ介助時に、屈んだ際、左膝に痛みがはしった。その後、入力介助時に入居者の足を洗う際、再度左膝に痛みがはしった。痛みが止まらないので、後日、病院を受診した。左膝外側半月損傷（疑い）と診断を受けた。	32	921	19	50 ~ 99
2017	12	10~11	午前の当番業務を終えて帰宅するため職場敷地内の駐車場に向かっていたところ、駐車場のコンクリートが凍っていたため足を滑らせた。その際、仰向けに転倒し、自力では動けなくなった為、娘に連絡をして病院へ連れていってもらい診察を受けたところ、右大腿骨頸部骨折と診断された。	58	417	2	1~ 9
			被災者は、原付バイクで住宅街の交差点を走行中、直進して交差点に進入した。一時停止しのため、一時減速した後、再び加速し、時				10

2017	12	12~13	速約20km程度で進入した所、進行方向右手から、自転車が一時停止をせずに進入してきた為、被災者のバイク右側面と相手方の自転車の前輪が接触し、路上で転倒し、ガードレールに左上半身から衝突し、左鎖骨の骨折に至った。	49	362	17	~ 29
2017	12	19~20	トイレ誘導時、入居者（男性・56kg）の脇をはさみ抱きかかえ、立ち上がってもらう際に右腕に痛みがはしった。	48	921	19	~ 99
2017	12	9~10	本館2Fおむつ交換室前フロアにて、清拭車を使用しようとしたところ、清拭車本体と台車がきちんとかみ合っておらず浮いている状態であったので、設置し直そうとしたところ、本体と台車の間に左手小指を挟まれた。	74	362	7	~ 99
2017	12	15~16	入浴の介助中、利用者の脱いだ靴を脱衣室の外に出そうとした際、入口付近が水で濡れており、足を滑らせ転倒した。その際、左手に靴を持っていたため、右手のみを床についた状態であった。右手首周囲に骨の変形を認め、骨折の疑いがあった。	49	416	2	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html